

詳細検討対象地域総括表

2.14.5 混交林(日本・満州)

: その欄の評価に関して有利に働くと思われる事実
 : その欄の評価に関して不利に働くと思われる事実

	詳細検討対象地域	都道府県	1. クライテリアに照らした評価の可能性 (下段は価値基準に関する完全性の条件に係る評価)				2. 国内外の既登録地等との比較	3. 完全性の条件に関する評価 (管理計画・保護担保措置)
			()地形・地質	()生態系	()自然景観	()生物多様性		
1	利尻・礼文・サロベツ原野	北海道		氷河時代の遺存種や固有種が存在し、高山植物が海拔0mから見られる。近縁種もしくは同一種が近隣地域にも見られる。	離島、火山、海食崖、海岸砂丘、森林、湿原、湖沼、お花畑等の変化に富んだ景観が見られる。サロベツ原野は人為の影響を受けている。		既に登録されているカムチャツカ火山群(ロシア)には、多様な火山タイプ、火山現象のほか、多様な湖・川、広大な湿原が広がる。	国立公園等が指定されているが、既指定地域全体の範囲で見ると、現在のところ厳しい規制がかかる区域の割合は高くない。
			高山植物や湿原植物の生育場所である海岸線から高山、および各種湿原など生態系(植生)の長期的保全を維持する要素をカバーしている。	各地域毎の景観の多様性に関しては完全性の条件に合致しない。				
2	知床	北海道		流氷の影響を受けた海洋生態系と陸域生態系との相互作用は、他の地域の生態系には見られない特異な生態系を構成している。	原生的な自然植生や複雑な海岸地形、海食崖が見られる。	シマフクロウ、オオワシ、オジロワシ等の希少鳥類の貴重な生息地となっている。海域・陸域生物の種多様性に富む。鳥類・哺乳類・植物には固有種がほとんどない。	流氷の影響を受けたコンパクトな半島の生態系は、シホテアリン山脈中央部(ロシア・既登録地)、カムチャツカ火山群(ロシア・既登録地)とは区別される。火山性に着目した場合、カムチャツカ火山群(ロシア)が既に登録されており、そこでは様々な火山タイプ、火山現象が見られる。	原生自然環境保全地域、国立公園、森林生態系保護地域が指定等されており、これら既指定地域全体の範囲で見ると、厳しい規制がかかる区域の割合も極めて高い。沿岸から1kmの範囲内は知床国立公園の海面普通地域として指定されているが、陸域から海域を含んだ統合的な管理計画はない。
			海域から高山植生帯に至る一連の生態系を含んでいる。	海、流氷、海食崖、森林、高山植物群落、湖など、美しい景観要素を含んでいる。	上記希少鳥類の繁殖地、越冬地を含む地域が保護されている。			
3	大雪山	北海道	様々な火山地形、火山現象が見られる。永久凍土や周氷河地形が見られる。	氷河期の遺存種(例: エゾナキウサギ、高山蝶等)が見られる。上記遺存種は固有種ではなく、他地域でも見られる。	広大な台地状の地形に生育する大規模な高山植物群落が見られる。		火山性に着目した場合、カムチャツカ火山群(ロシア)、トンガリ国立公園(ニュージーランド)が既に登録されており、そこでは、様々な火山タイプ、火山現象が見られる。動植物種に着目した場合、シホテアリン山脈中央部(ロシア・既登録地)と良く似た生物相が見られ、その規模において大きな差がある。	原生自然環境保全地域、国立公園、森林生態系保護地域が指定等されており、これら既指定地の全体の範囲の面積はわが国では最も広い。既指定地域全体の範囲で見ると、厳しい規制がかかる区域の割合は低い。
		火山地形としての多様な火山タイプを包含する地域を含んでいる。氷河自体を包含していないため、氷河地形としての完全性を満たさない。	森林帯から高山帯まで十分な規模を含んでいる。	湖、湿原、高山植物などの美的価値を有し、それらの要素を全てカバーするための十分な規模を含んでいる。				

2.14.5 混交林(日本・満州)

	詳細検討対象地域	都道府県	1. クライテリアに照らした評価の可能性 (下段は価値基準に関する完全性の条件に係る評価)				2. 国内外の既登録地等との比較	3. 完全性の条件に関する評価 (管理計画・保護担保措置)
			()地形・地質	()生態系	()自然景観	()生物多様性		
4	阿寒・屈斜路・摩周	北海道	世界有数のカルデラ地形が見られる。		3つのカルデラとカルデラ湖を取り巻く原生林による景観美が見られる。 主要地域内に利用施設や集落などが見られ、人為的改変が少なくない。		カルデラ地形に着目した場合、トバカルデラ(インドネシア)、イエローストーンカルデラ(アメリカ・既登録地)など、より大規模なカルデラが存在するほか、ンゴロンゴロ国立公園(タンザニア・既登録地)など、より完全なカルデラ壁を有する地域が存在する。	国立公園等が指定されているが、既指定地全体の範囲で見ると、厳しい規制がかかる区域の割合は低い。
			カルデラ壁は一部分断されており、学術的観点での価値が完全には残っていない。		火山地形や原始的な森林などの美的価値を有し、それらの要素を全てカバーするための十分な規模を含んでいる。			
5	日高山脈	北海道	氷河地形が見られる。	原生的な生態系と多様で固有な動植物相が見られる。 近縁種もしくは同一種が近隣地域にも見られる。	原生的な自然景観美が見られる。		動植物種に着目した場合、シホテ-アリン山脈中央部(ロシア・既登録地)と良く似た生物相が見られる。	森林生態系保護地域、国定公園が指定等されており、既指定地全体の範囲で見ると、厳しい規制がかかる区域の割合も高い。
			氷河自体を包含していないため、氷河地形としての完全性を満たさない。	森林帯から高山帯までの一連の生態系を含んでいる。	原生林、高山植物などの美的価値を有し、それらの要素を全てカバーするための十分な規模を含んでいる。			

2.15.6 夏緑樹林(東アジア)

	詳細検討対象地域	都道府県	1. クライテリアに照らした評価の可能性 (下段は価値基準に関する完全性の条件に係る評価)				2. 国内外の既登録地等との比較	3. 完全性の条件に関する評価 (管理計画・保護担保措置)
			()地形・地質	()生態系	()自然景観	()生物多様性		
6	早池峰山	岩手県		蛇紋岩上の独特な生態系を有する。 近縁種もしくは同一種が近隣地域にも見られる。			蛇紋岩植生は国内外にもよく見られる。	自然環境保全地域、森林生態系保護地域、国立公園等が指定されており、既指定地全体の範囲で見ると、厳しい規制がかかる区域の割合も極めて高い。
				低標高地域の森林帯など隣接生態系を含む十分な規模と要素を有していない。				
7	飯豊・朝日連峰	山形県 新潟県 福島県		多雪環境が作り出す偽高山帯、雪田植生などの特徴は氷河期以降の森林形成を示している。	高山植物を含む雪田植生や溪谷・雪食地形など多雪環境による原生的な山地景観が見られる。		多雪環境に着目した場合、偽高山帯は他地域でも見られるほか、白神山地でも多雪環境が代表し得るという意見もあることから、白神山地との比較や国際比較をさらに検討する必要あり。ブナ林生態系に着目した場合、白神山地との共通性は否定し得ない。	国立公園、森林生態系保護地域等が指定されており、既指定地全体の範囲で見ると、厳しい規制がかかる区域の割合も高い。
				多雪環境による影響を受けて成立している植生帯の差異や、広大な原生林を含んでいる。	高山植物のお花畑やブナを主体とした原生的な森林帯の多くを含んでおり、美しい山地景観を有する。			

2.15.6 夏緑樹林(東アジア)

	詳細検討対象地域	都道府県	1. クライテリアに照らした評価の可能性 (下段は価値基準に関する完全性の条件に係る評価)				2. 国内外の既登録地等との比較	3. 完全性の条件に関する評価 (管理計画・保護担保措置)
			()地形・地質	()生態系	()自然景観	()生物多様性		
8	オリ根・奥只見・奥日光	福島県 群馬県 栃木県 新潟県		尾瀬に代表される大規模な高層湿原と多様な湿原生態系が見られる。主要地域の一部では、利用施設や利用者の集中が見られ、人為的改変が小さくない。	森林・湿原・湖沼景観が美しい。主要地域の一部では、利用施設や利用者の集中が見られ、人為的改変が小さくない。		多様な湿原景観はカムチャツカの火山群(ロシア・既登録地)などでも見られる。ブナ林生態系に着目した場合、白神山地との共通性は否定し得ない。	自然環境保全地域、国立・国定公園、森林生態系保護地域、天然保護区域が指定等されているが、これら既指定地全体の範囲で見ると厳しい規制がかかる区域は限定されている。主要地域の一部では、利用者の集中によるゴミや高山植物群落衰退などに対する更なる対策強化が課題。
				多様な湿原生態系から森林、高山生態系まで含んでいる。	湿原景観や湖沼景観などは際立ってすぐれた景観要素を含んでおり、それらの要素に接する集水域や森林地帯を含んでいる。			
9	北アルプス	新潟県 富山県 長野県 岐阜県	カール等の氷河地形が見られる。特徴的な峡谷地形が見られる。特徴的な峡谷地形の中核部分に人工構造物(ダム)が存在し、自然流量の人為的変動が見られる。	氷河期の遺存種(例:ライチョウ、ケシヨウヤナギ等)が見られる。上記遺存種は、他地域に亜種等の近縁種もしくは同一種が見られる。	我が国を代表する美しい山岳景観が見られる。一部地域では、車道やスキー場等が高標高地まで延びており、利用施設や利用者の集中により、主要地域の人為による影響が小さくない。	カナディアンロッキー山脈公園群(カナダ)、ヨセミテ国立公園(アメリカ)など優れた山岳景観を有する登録地が既に多くある。哺乳類相は、本州中部地方の山岳地帯で共通しており、北アルプスだけの特異性が見られない。	国立公園、森林生態系保護地域、天然保護区域等が指定等されているが、これら既指定地全体の範囲で見ると厳しい規制がかかる区域は、高標高地に限定されている。主要地域の一部では、利用者の集中によるゴミや排水・尿処理などの管理体制の強化が課題。車道周辺の森林衰退や、利用者集中地域での高山植物群落衰退などに対する更なる対策強化が課題。	
			氷河自体を包含していないため、氷河地形としての完全性を満たさない。	高山・亜高山帯から中・低標高地の森林帯までの一連の生態系を包含している。	峡谷地形や高山植物、植生の垂直分布など多様な山岳景観は優れた美的価値を有する。			

2.2.2 常緑樹林(日本)

	詳細検討対象地域	都道府県	1. クライテリアに照らした評価の可能性 (下段は価値基準に関する完全性の条件に係る評価)				2. 国内外の既登録地等との比較	3. 完全性の条件に関する評価 (管理計画・保護担保措置)
			()地形・地質	()生態系	()自然景観	()生物多様性		
10	富士山	山梨県 静岡県	3,000mを越える単独峰の成層火山と多様な溶岩地形が見られる。 山麓部(1~3合目)は人為的改変が進んでいる。	溶岩洞窟に生息する特殊な洞窟動物が見られる。 山麓部(1~3合目)は人為的改変が進んでいる。	独立峰として日本随一の美的景観を有している。		大規模な成層火山としては、キリマンジャロ国立公園(タンザニア・既登録地)で代表されている。 溶岩洞窟はハワイ火山国立公園(アメリカ・既登録地)などでも見られる。 グヌン・ムル国立公園(マレーシア・既登録地)ではコウモリ28種、真洞穴性動物200種以上が知られ、その殆どが固有種となっている。	国立公園と天然記念物が指定されているが、厳しい規制がかかる区域は5合目以上など限定されている。 ゴミ・尿尿問題等を含む保全管理体制の確立が必要。 溶岩洞窟は主に山麓部に位置しており、国立公園の規制がかかる対象は一部にすぎない。
		火山地形としての多様な火山タイプを含んでいない。	山麓周辺の人為改変が進み、溶岩洞窟の重要な要素が失われている可能性がある。	美的景観を有している。				
11	南アルプス	長野県 山梨県 静岡県	カール等の氷河地形が見られる。	複雑・多様な地質・地形により、多様な植生や固有種が見られ(例:キタダケソウ、キタダケヨモギ等)進行中の生態系の過程を示す。 近縁種もしくは同一種が近隣地域にも見られる。	我が国を代表する美しい山岳景観が見られる。		哺乳類相は、本州中部地方の山岳地帯で共通しており、南アルプスだけの特異性が見られない。 カナディアンロッキー山脈公園群(カナダ・既登録地)など同様の優れた山岳景観を有するより規模の大きな登録地が既に多く存在する。	原生自然環境保全地域、国立公園、森林生態系保護地域が指定等されているが、これら既指定地全体の範囲で見ると、厳しい規制がかかる区域は山稜部などに限定されている。
		氷河自体を包含していないため、氷河地形としての完全性を満たさない。	低標高の森林帯から高山帯まで、十分な規模を有する。	山岳景観として必要な要素はすべて包含している。				
12	祖母山・傾山・大崩山、九州中央山地と周辺山地	大分県 宮崎県 熊本県		照葉樹林や南限のブナ林が見られる。 残存する自然林は人為の影響を少なからず受けている。			照葉樹林の既登録地として、ガラホナイ国立公園(スペイン、登録面積40km ²)とマデイラ諸島のラウリシルヴァ(ポルトガル、150km ²)があり、それぞれの照葉樹林の占める面積は28km ² 、150km ² と規模が大きい。	自然環境保全地域、国定公園、森林生態系保護地域等が指定等されているが、これら既指定地全体の範囲を見ると、地域が分散しているとともに、厳しい規制がかかる区域は、高標高地のブナ林等に限定されている。
			照葉樹の自然林は小面積で分断されており、十分な規模と生態系の要素を欠いている。					

2.2.2 常緑樹林(日本)

	詳細検討対象地域	都道府県	1. クライテリアに照らした評価の可能性 (下段は価値基準に関する完全性の条件に係る評価)				2. 国内外の既登録地等との比較	3. 完全性の条件に関する評価 (管理計画・保護担保措置)
			()地形・地質	()生態系	()自然景観	()生物多様性		
13	阿蘇山	熊本県	世界的規模のカルデラ地形が見られる。 現状では広く土地利用が進んでおり、人為の影響が少ない。		カルデラ地形とその内外には優れた景観が見られる。 主要地域内では土地利用が進んでおり、利用施設、利用者も多いなど、人為の影響が少ない。		カルデラ地形に着目すれば、阿寒・屈斜路・摩周、始良、トバカルデラ(インドネシア)、イエローストーン国立公園(アメリカ・既登録地)など、より規模の大きな地域や、ンゴロンゴロ国立公園(タンザニア・既登録地)などカルデラ壁がより完全な地域が存在する。	国立公園が指定されているが、カルデラ内で見ても、厳しい規制がかかる区域の割合は極めて低い。
			火山地形としては、噴火タイプの多様性がなく、完全性の条件を満たさない。		活火山、カルデラなどの主要な景観要素を含んでいる。			
14	霧島山	宮崎県 鹿児島県	多様な火山地形を含み、現在も活発な活動が見られる。	標高差、火山活動などにより多様な植生や固有種が見られ、進行中の生態学的過程を示す。 近縁種もしくは同一種が近隣地域にも見られる。	優れた火山景観が見られる。		火山景観に着目すれば、カムチャツカの火山群(ロシア・既登録地)、ハワイ火山国立公園(アメリカ・既登録地)などの同様の火山性登録地が多く存在し、それらはより多様な火山を有し、規模もはるかに大きい。 同地理区分の屋久島ではより多様な植生が見られる。	国立公園等が指定等されているが、既指定地全体の範囲内で見ると、厳しい規制がとられている区域の割合は低い。
			火山地形としての構成要素(噴出岩、噴火タイプ)を多く含んでいる。	主要な植物群落を包含しており、当該生態系の維持に必要な規模を有している。	火口湖、温泉・地獄、湧水群による独特な景観要素を含んでいる。			
15	伊豆七島	東京都	島毎に植生が異なり、保存状態の良い照葉樹林が残存する。 典型的な植生の一次遷移が見られる。 御蔵島の照葉樹林は小規模であり、他島では人為的改変により、学術的観点での価値が完全には残っていない。	島毎に植生が異なり、保存状態の良い照葉樹林が残存する。 典型的な植生の一次遷移が見られる。 御蔵島の照葉樹林は小規模であり、他島では人為的改変により、学術的観点での価値が完全には残っていない。	海食崖や火山景観が見られる。 地域全体で見ると、利用施設や利用者の集中が見られる地域も多く、人為的改変度が少ない。	希少動植物、特に鳥類の貴重な生息地が見られる。	ハワイ火山国立公園(アメリカ・既登録地)では、より規模の大きい火山が見られ、生物相の固有性も高い。 火山による植生遷移は他でも見られる。	国立公園が指定されているが、既指定地全体の範囲内で見ると、厳しい規制がとられている区域の割合は極めて低い。
				島のほぼ全面積および周辺海域を含んでおり、十分な規模を有する。	各地域毎の景観の多様性に関しては完全性の条件に合致しない。	島のほぼ全面積および周辺海域を含んでおり、重要な生育・生息地は包含している。		

5.2.13 ミクロネシア

	詳細検討対象地域	都道府県	1. クライテリアに照らした評価の可能性 (下段は価値基準に関する完全性の条件に係る評価)				2. 国内外の既登録地等との比較	3. 完全性の条件に関する評価 (管理計画・保護担保措置)
			()地形・地質	()生態系	()自然景観	()生物多様性		
16	小笠原諸島	東京都		海洋島を特徴づける独特の島嶼生態系を有している。	地形の成因や地質、生物相等の差異により変化に富んだ景観や美しい海中景観が見られる。	多くの固有種、希少種(例:オガサワラオオコウモリ、ムニンノボタン等)の生息・生育地となっている。海洋生物の多様性に富んでいる。	固有種の数では、ガラパゴス諸島(エクアドル・既登録地)東レンネル(ソロモン諸島・既登録地)が優位だが、太平洋西部、北西部で小笠原のような高い固有率を示す島はない。国内では南西諸島にサンゴ礁の発達した海中景観が見られる。同地理区分では、トゥバタハ岩礁海洋公園(フィリピン)が既に登録地となっており、多様な海藻、海草類、サンゴ類が見られる。	原生自然環境保全地域、国立公園、森林生態系保護地域が指定等されているが、これら既指定地全体の範囲でみると厳しい規制がかかる区域の割合は限定されている。絶滅危惧種の生育地など、重要な地域の中には、保護区による担保が十分でなく、さらなる保護の強化を必要とする地域が含まれている。移入種対策を含む総合的な管理計画が必要。
			海草類などの隣接生態系を含む。島嶼生態系としては、島のほぼ全面積および周辺海域を含んでおり、十分な規模を有する。	亜熱帯性の自然美の要素を包含している。	重要な生育・生息地を包含している。移入種による固有種・希少種への影響が認められる。			

2.41.13 琉球諸島

	詳細検討対象地域	都道府県	1. クライテリアに照らした評価の可能性 (下段は価値基準に関する完全性の条件に係る評価)				2. 国内外の既登録地等との比較	3. 完全性の条件に関する評価 (管理計画・保護担保措置)
			()地形・地質	()生態系	()自然景観	()生物多様性		
17	南西諸島	鹿児島県 沖縄県	海溝、非火山性の前弧、火山弧、背弧盆などの島弧海溝系地形の典型的な例を示している。	独特な地史により形成された多様な亜熱帯林、サンゴ礁の生態的特徴、および隔離された島嶼での種分化の過程を示している。	温帯林の特徴を残す山地林～マングローブ林、熱帯性植物による海岸植生、砂浜、サンゴ礁に至る多様な景観美が見られる。	希少動植物、固有種(例:アマミノクロウサギ、ヤンバルクイナ等)の重要な生息・生育地となっている。移動性動物(渡り鳥、鯨類)の重要な中継地、海鳥、ウミガメ類の重要な繁殖地となっている。	トゥバタハ岩礁海洋公園(フィリピン)、グレートバリアリーフ(オーストラリア)などでも発達したサンゴ礁が見られ、既に登録地となっているが、サンゴ礁の分類では、明らかに区別される。ガラパゴス諸島(エクアドル・既登録地)は大洋島として長期間の隔離による種分化の優れた例であるが、南西諸島とは性格を異にする。陸域～海域に至る多様な景観美を有する既登録地としては、東レンネル(ソロモン諸島)などがある。	自然環境保全地域、国立・国定公園、森林生態系保護地域が指定等されているが、厳しい規制のかかる区域は断片的に限定されている。絶滅危惧種の生息地など、主要な重要地域のいくつかは、未だ保護区として設定されておらず、さらなる保護の強化を必要とする地域が含まれている。
			島弧海溝系地形の典型的要素が揃っている。	地史的な影響を受け隔離された島嶼での種分化の過程を示す十分な規模と要素を含んでいる。	亜熱帯性の自然美の要素はすべて包含している。	重要な生育・生息地を包含している。		

(海岸地形)

	詳細検討対象地域	都道府県	1. クライテリアに照らした評価の可能性 (下段は価値基準に関する完全性の条件に係る評価)				2. 国内外の既登録地等との比較	3. 完全性の条件に関する評価 (管理計画・保護担保措置)
			()地形・地質	()生態系	()自然景観	()生物多様性		
18	三陸海岸	岩手県 宮城県	地形形成過程を示す隆起地形が見られる。 必ずしも地球の歴史の主要段階を代表する顕著な例とは言い難い。		隆起地形や海食崖、海食洞、波食台、潮吹き穴等の変化に富んだ景観が見られる。 一部地域では、人為的改変が小さくない。		特徴的な海岸地形を有する既登録地として、グロス・モーン国立公園(カナダ)、ドーセット及び東デボン海岸(イギリス)などが存在する。	国立・国定公園が指定されているが、これら既指定地全体の範囲で見ると、厳しい規制がかかる区域の割合は極めて低い。
			主要な海岸地形は含まれている。		主要な海岸地形、要素は含まれている。			
19	山陰海岸	京都府 兵庫県 鳥取県	日本海の形成過程を示す地形・地質が見られる。 地球の歴史の主要段階というよりは地域的な歴史の主要段階と考えられる。		海食崖、洞門、岩礁等の海蝕地形、砂丘、大規模な柱状節理等の変化に富んだ海岸景観が見られる。 一部地域では、人為的改変が小さくない。		特徴的な海岸地形を有する既登録地として、グロス・モーン国立公園(カナダ)、ジャイアンツ・コースウェーとコースウェー海岸(イギリス)などが存在する。	国立・国定公園が指定されているが、これら既指定地全体の範囲で見ると、厳しい規制がかかる区域の割合は極めて低い。
			主要な海岸地形は含まれている。		主要な海岸地形、要素は含まれている。			